

# 江口の里・大隅の旧跡をたどる ~南江口・大桐~

## OsakaMetro今里筋線

平成18年(2006)に開業した、井高野駅から今里駅を結ぶ路線で、他の路線より小さい鉄輪式リニアモーター式車両を採用している。駅出入口は、オレンジ色のゲートを設置し、大隅や大桐付近では、道路幅が狭いため、トンネルが上下になっている。

## 大阪経済大学

昭和10年(1935)に昭和高等商業学校として、現在地に移転した。戦後、大阪経済専門学校と名称を変え、昭和24年(1949)には新制大学として現在の名称になった。地域や産官学の連携に特に力を入れている。



### 葦島神社跡

江口村の氏神であったが、明治42年(1909)に大隅神社に合祀され灯籠が残る。王子マテリア大阪工場の敷地南にクスノキとムクノキのご神木が残っている。他に「江口わたし」の道標が残されている。

### 江口の君堂(寂光寺)

当寺開山、遊女「江口の君」は、平資盛(たいらのすけもり)の娘で叔母の縁で当地にいた。仁安(にんあん)2年(1167)西行法師が天王寺詣の途中、雨やどりを乞うが断わられ歌の贈答があったその奥ゆかしさに一夜を語り明かしたという。

### 三千樋

淀川には、数多くの樋門があった。淀川の改修工事に伴い、すべてこれらの樋門は取りのぞかれ、明治30年(1897)11月大道村他13か村、普通水利組合が設置され、ここに三千樋が設けられた。淀川右岸の田畑1800町歩をうるおす。

### 大隅神社・大隅公園

この地に離宮を営んでおられた応神天皇が崩御の後、里人が神祠を建立したのが起源といわれている。神事は、初詣・とんど・節分・春秋大祭・七五三詣・年2回の大祓等があり、公園ともども賑わう。

### 逆巻地藏

かつて、現在の辻堂付近(大道南)の淀川の流は激しく、船頭達には逆巻きの難所であった。犠牲者も多く、堤防上に地藏尊を建立し祀ったところ靈験があり、以後の遭難はなくなったという。大正12年(1923)、現在地に移った。

### 稲生神社(紅梅稲荷)

屋島の合戦で敗れた平家の落武者が、この地に多く潜し農民となり、森林を伐採し開墾した。そこで老松や古杉を切った崇りが農家に不審火として発生し、疫病が蔓延した。これを鎮めるため創建したのが稲生神社であるという。

### 乳牛牧跡

安閑天皇のころ(532年ごろ)から乳牛を飼養していたとされており、のちに朝廷に牛乳を献上し、乳牛牧荘の名で知られていた。牧場の立地に適していることから都市化が進んだ昭和40年代ごろまで乳牛の飼養が極めて盛んであった。